

東北農政局長賞

有機農業・環境
保全型農業部門
(個別経営の部・生産)

株式会社一関山本農場

いちのせきやまもとのうじょう

平成27年から本格的に有機栽培を開始し、「一番大切な人に食べさせたい農産物をつくる」の経営理念のもと令和5年に法人を設立。

代表者名：山本 佳範
所在地：岩手県一関市
品目：水稲

面積：25.4ha
構成員：3名

取組の紹介

【環境負荷低減に資する取組】

- 4haで有機栽培を含む自然栽培に取り組み、平成28年に有機JAS認証を取得。
- 別途2.7haでは除草剤以外の農薬を使用しない「低農薬栽培」を実施。

【効率的な生産に向けた取組】

- 有機栽培において課題となる除草技術の開発に向け、新型乗用除草機やアイガモロボ、ハイクリブームスプレヤーによる食酢散布等の実証試験に注力。

【安定出荷・販路確保の取組】

- ヘルスケアレストランや地域のこども園、ECサイト等で生産した有機米を販売。一関市のふるさと納税返礼品にも採用。会員である一関地方有機農業推進協議会としては、市内全域の学校給食に有機米を供給し、今年度は供給回数の増加に向け検討を進める。

【情報伝達の取組】

- 有機米を提供しているこども園の園児を招き、稲刈りや緑肥として栽培する菜の花摘み体験のほか、ドローンの飛行実演等の農業体験を実施。自社のwebサイトで、取組の様子を紹介し積極的な情報発信に努める。



一関山本農場の皆様



乗用除草機(左)と
アイガモロボ(右)の様子



こども園の園児による稲刈り体験

ホームページ・SNS等

一関山本農場ホームページ <https://www.yamamotonojyou.com/>